

農 大 だより

令和7年8月1日発行
愛知県立農業大学校

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831
E-mail: noudai@pref.aichi.lg.jp
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

令和7(2025)年度版



CONTENTS

- 1 専攻紹介(切花)
- 2 特集
入学して思うこと(前編)
新規就農希望者向け研修の概要
- 3 専攻トピックス
- 4 トピックス
令和7年度外部評価委員会を開催
AGTS 農業展
第1回進路セミナー、エントリーシート作成セミナーを開催
農学科後援会の専攻見学・懇話会を開講
終業式を開催
- 5 お知らせ
- 6 クラブ活動紹介(フットサル部・茶道部)
- 7 SNS投稿dialy

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



専攻紹介

切花専攻

切花専攻には、全国一の花の生産額を誇る愛知県の未来を担う学生19人(2年生8人、1年生11人)が在籍しています。日々、“少数精鋭”を合言葉に、花の魅力を身近に感じながら、明るく楽しく実習に取り組んでいます。

学生は3つの部門(キク班、バラ班、洋花班)に分かれ、キク、バラ、ヒマワリ、ストック、カーネーション、ケイトウ、ガーベラなど多様な品目・品種の花を栽培しています。5棟の温室(総面積1,500m²)と露地圃場(500m²)で、年間およそ6万本の切花を栽培します。

栽培した切花は、毎週水曜日の実習販売や毎年12月に行われる農大祭で販売しています。可愛いラッピングを施したミニブーケや、キク、ケイトウ、ヒサカキなどを組み合わせた仏花が人気です。また、入学式や卒業式の壇上の会場装花では、日ごろの実習の成果を存分に発揮して学生が作成し、式を華やかに彩っています。

実習販売



キク班



需要期(物日)にあわせた電照栽培を基本とし、露地では小ギクも栽培しています。
今年度は、県育成品種を中心に複数の品種を栽培します。
さらに農大祭に向けて、フラワーアレンジに活用できるポンポンギクにチャレンジします!!

【栽培品種】
輪ギク、スプレーギク、小ギク



バラ班



ロックウール培地を用いた養液栽培を行っており、アーチング方式や改良切り上げ方式で管理しています。
改植の時にはカタログを見ながら自分たちで品種を選びます。昨年度は、ピンク色のスプレーバラ「ストロベリーワルツ」を導入し、バリエーションが増えました。

【栽培品種】
スプレーバラ、スタンダードバラ



洋花班



洋花班では一年を通して様々な品目の花を育てるため、多くの知識や経験が身につきます。

手軽に扱いやすいヒマワリの栽培方法の確立や、ストックの八重率向上を目指してプロジェクト課題に取り組んでいます。

【栽培品目】

ヒマワリ、ストック、カーネーション、ケイトウ、マリーゴールド、ペニバナ、スターチス、ハボタンなど



収 穫



毎日の実習は、栽培した花の収穫から始まります。月・木・金曜日には、市場出荷のため、収穫した花を切り揃えて束にします。多い日は、1日1,500本の花を出荷することもあります。

調 製



圃場の整地（露地）



入学式での壇上の花



プロジェクト活動（花芽検鏡）



農大祭で恒例の花販売



農産加工演習



フラワーアレンジメント演習



特集

2025 新入生 農大に入学して思うこと (前編)

2025 年度に入学した新入生から、各専攻一人ずつ、「農業大学校に入学したきっかけ」や「卒業後の進路」などを聞いてみました。8月号と9月号に分けて紹介します。

《新入生》

近藤隼矢	【鉢物・緑花木専攻】	…高卒認定試験合格
中川将成	【切花専攻】	…県内普通高校出身
松野慶稀	【作物専攻】	…県外農業高校出身
高橋亜衣莉	【果樹専攻】	…県内農業高校出身
三島颯斗	【露地野菜専攻】	…県内農業高校出身
石川晟	【施設野菜専攻】	…県内農業高校出身
加藤春花	【酪農専攻】	…県内農業高校出身
加藤ちえ	【養豚・養鶏専攻】	…県外農業高校出身

Q 農業大学校に入学しようと思ったきっかけは？

近藤隼矢【鉢物・緑花木専攻】

兼業農家の母の手伝いをして、もっと詳しく草花について学びたいと思ったから。

中川将成【切花専攻】

実家がキク農家で、高校は普通科でした。高校卒業後の進路で、農業を本格的に学びたいと思い、農業大学校に入学しました。

松野慶稀【作物専攻】

元々農業高校出身で、高校の時にやってみたかった米などについて学びたいと思っていて、愛知県立農業大学校で学べると知ったことがきっかけ。

高橋亜衣莉【果樹専攻】

もっと果樹について学びたいと思い、入学しました。

三島颯斗【露地野菜専攻】

親が農家で農業に関係した仕事に携わりたいと考えていました。より専門的な知識を身に着けたいと考えていたところ農業大学校のことを知り入学を決めました。

石川晟【施設野菜専攻】

農家カフェ経営の夢があり、派遣実習を通して農家さんとながりを深めたかったため。

加藤春花【酪農専攻】

経済動物である牛の命を少しでも幸せな時間にしたいという思いがあり、そのためには深い知識と実践力が必要だと思いました。そのため、牛の管理を生徒中心で実践的に学べる農大に魅力を感じて入学しました。

加藤ちえ【養豚・養鶏専攻】

出身である岩手県の農業高校で養鶏を学習した上で、更なる知識や技術向上、消費者ニーズ等の見聞を広めたいと考え、名古屋コーチンや岡崎おうはんをはじめとしたブランドの確立・発展に成功している愛知県の農業大学校を選択しました。

Q 寮の生活はどうか？

近藤隼矢【鉢物・緑花木専攻】

最初は同世代の共同生活に不安があったが、実際過ごしてみたらにぎやかで騒がしい空気感が楽しく感じる。



中川将成【切花専攻】

始めは他の学生との共同生活に不安を感じましたが、今では同じ専攻の学生や他の学生とも気軽に遊べる仲になり、楽しく過ごしています。



松野慶稀【作物専攻】

家での生活と違い、大変で慣れない生活だけど、慣れてくると友達と長い時間過ごせて楽しく、仲を深めることができます。また、個室で1人の時間にとれるのもうれしいです。



高橋亜衣莉【果樹専攻】

友達と部屋でおしゃべりしたりできて楽しいです。



三島颯斗【露地野菜専攻】

最初は不安でずっと家から通わせてほしいと思っていましたが、案外慣れました。



石川晟【施設野菜専攻】

友達と部屋に集まって話したり、遊べたりして楽しい。



加藤春花【酪農専攻】

初めは不安なところも多くありましたが、友達とワイワイ楽しく過ごしたり、一緒に勉強したりして、充実した寮生活を送っています。部屋は個室なのでプライベート空間があり、落ち着けます。



加藤ちえ【養豚・養鶏専攻】

農業高校で既に3年間寮生活を送っていたので大きな変化はありませんが、大学生という立場であり、門限やアルバイト等の自由度が高かったです。個人的に1人1部屋、Wi-Fiも設置されている点がとても快適で気に入ってます。



Q 農業大学校に来て良かったことは？

近藤隼矢【鉢物・緑花木専攻】

共同生活によって人間関係の構築が簡単で楽しい！また、教員・クラスメイトの知識が豊富で学ぶことが多い。



中川将成【切花専攻】

学食がおいしいです。おかわりが自由で食事の選択が多く、飽きることがありません。



松野慶稀【作物専攻】

人との関わりが多く、友達ができるやすい環境だと思いました。寮生活や実習を通して協力して仲が良くなるなど、普通の学校にはない交流を深める機会が多く、友達がいっぱいできたのがうれしかったです。



高橋亜衣莉【果樹専攻】

実習内容が充実しているので、しっかりと学ぶことができるのが良いところです。



三島颯斗【露地野菜専攻】

朝に点呼があるおかげで乱れていた生活習慣が治ってきたことです。



石川晟【施設野菜専攻】

農業の面白さと大変さの両面がわかったこと。



加藤春花【酪農専攻】

酪農を学ぶための環境がとても整っているところです。24時間365日いつでも牛に寄り添うことができ、より実践的な学びが得られます。



加藤ちえ【養豚・養鶏専攻】

出身地とは異なる気候や立地のため、それに伴った畜産作業への工夫や注意する点も多く、畜産と環境から発生する新たな問題やメリットを知ることができました。



研修紹介

新規就農希望者向け3研修

農業大学校では、新規就農希望者向けに、「ニューファーマーズ研修」、「農業者育成支援研修」、「農業技術研修」の3つの長期研修を実施しています。

これらの研修修了者の多くが県内各地で就農し、活躍しています。

① ニューファーマーズ研修

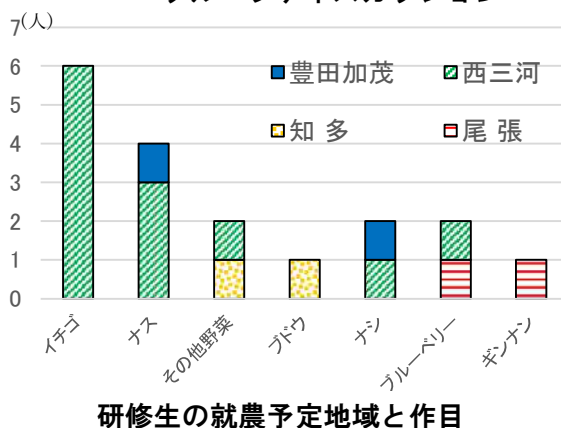
ニューファーマーズ研修は、愛知県内で農業経営をめざす方を対象としており、修了生のほとんどが経営主として新規就農しています。

今年度の研修は4月17日から来年2月26日まで約10か月間実施します。就農予定地域の先進農家において実習により栽培技術を習得するとともに、農業経営に必要な基礎知識の講義やグループディスカッション等を行います。遠方から受講する研修生の利便性を考慮して、農大で実施する座学のうちオンライン配信が可能な講義は、自宅でも受講できるようにしています。

この研修は各地のJA等が取り組んでいる新規就農者育成事業と連携して実施しています。今年度は19名の受講生うち11名が、こうした育成事業からの研修生です。



グループディスカッション



研修生の就農予定地域と作目

② 農業者育成支援研修

農業者育成支援研修は、主に農業以外の分野から新規就農を希望する方を対象に、就農に必要なとなる栽培に関する基礎的な技術や知識の修得を目指します。

今年度の研修は、5月23日に始まり、来年1月21日までの約8か月間、13名が学んでいます。

受講生の経歴は多様で、早期退職された方や他の仕事を続けながら受講されている方もいらっしゃいます。これまでの農業経験の程度も様々ですが、協力して実習に取り組んでいます。

研修では、露地野菜の慣行栽培に取り組んでいます。週3日間(8月までは週4日間)、実習を中心に、実践的な内容の講義も18回(実験を含む)実施します。

実習は、午前中に、共同ほ場において研修生全員で同一の作業を行い、技術を習得します。午後は、区割りした個別のほ場で、研修生各々が栽培したい野菜を育てます。

また、校外見学(先進地)を2回、本研修を修了した農業者のほ場での委託実習を2日間行っています。



メロンの整枝



かん水チューブ設置

③ 農業技術研修

農業技術研修は、離職者を対象とした公共職業訓練に位置づけられた研修で、農業法人等への就職や新たに農業を始めるために必要な農業の基礎的な知識・技術の修得を目的としています。

今年度は、5月8日に研修が始まり、来年1月28日までの9か月間、28名が露地野菜を中心とした栽培実習や講義に取り組んでいます。

研修日は、月曜日から金曜日の週5日で、うち木曜日は「講義」、ほかの曜日は「実習」を行います。実習ではナスやピーマンの誘引、せん定のほか小菊の挿し木作業など様々な作業を行っています。7月からは本校学生の実習販売日に合わせて、収穫したナスやトマト、スイカなどを直接販売する実習も始まりました。

また、「校外学習」において、各品目の先進農家や本研修の修了生で自営就農を果たした先輩農家や農産物直売所の視察などを行っています。



ナスの誘引



校外学習 ナシ農家視察

専 攻 トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切 花	作 物	果 樹	露地野菜	施設野菜	酪 農	養豚・養鶏	計
1 年	7(0)	11(3)	6(1)	15(4)	15(3)	13(2)	17(12)	8(3)	92(28)
2 年	6(0)	8(2)	8(2)	13(3)	13(4)	15(2)	9(4)	4(4)	76(21)
計	13(0)	19(5)	14(3)	28(7)	28(7)	28(4)	26(16)	12(7)	168(49)



鉢物・緑花木

シンビジウムの 山上げを実施

鉢物・緑花木専攻で栽培しているシンビジウムは、年末年始の贈り物として人気があるため11～1月に出荷ピークを迎えます。しかし、花芽の生育する7月以降の暑さに弱いという欠点があります。そこで、夏は高冷地にシンビジウムを山あげすることが一般的で、私たちも6月末に愛知県北設楽郡の山あげ地に持って行きました。作業を行った学生は農大のある岡崎市よりも涼しいことに驚いていました。この涼しい環境のもと、順調に花芽をつけて12月の農大祭や市場に向けてたくさんの鉢を出荷できると期待しています！



切 花

山間地域の切花生産について学ぶ

切花専攻の2年生が校外学習で豊田市稲武地区の特産である小ギクを視察しました。

山間地域では冷涼な気候を活かし、平地では出荷できない時期に多品種栽培することで、収穫時期を分散して出荷作業を行っていました。

小ギク農家との質疑応答では、出荷規格や病害虫防除、使用している資材など現場ならではの情報を収集し、学生たちは知見を広げた様子でした。





露地野菜

元気のおすそ分け

今年も当たり前の様に 35℃を超える日が多い日々です。そんな暑さにも負けず露地野菜専攻では夏野菜の収穫を行っています。夏休みに入り当番の一年生が中心となって作業を行っていますが、丁寧に素早く収穫をこなせるようになってきて4月当初に比べ頼もしくなってきました。さて、今回収穫を行った夏野菜ですが水分やビタミン、ミネラルなどを多く含んでいるため夏バテ防止にぴったりです。直売でもどんどん販売していく予定ですのでこの夏を乗り越えるためにもぜひ買って食べてみてください。



施設野菜

アールスメロンとスイカの おいしい季節になりました

施設野菜専攻では夏の品目としてアールスメロンとスイカを栽培しています。40℃近くになる大変暑いハウス内での脇芽取りや玉つりなどの作業をこなし、ようやく7月中下旬から、メロン、スイカともに収穫期を迎えました。専攻のみんなで休憩中に甘くてみずみずしいメロンとスイカを食べてこの笑顔！直売で多くの人に買ってもらえるようにたくさん宣伝します！



作物

県外学習で根粒菌について学ぶ

7/3, 4の2日間で千葉、茨城県へ県外学習に行きました。7/4は農研機構の生物機能利用研究部門に伺いました。そこでは土壌中の植物の根と根粒菌が共生する様子を土を掘り返さなくても観察できるリゾフレイムシステム、また、蛍光タンパク質を用いた共生の過程などを学びました。普段、農業大学校で作付けしている大豆に大きく関わる根粒菌について、とても興味深く学んでいました。





今年も美味しい果物の販売が始まりました！

果樹

果樹専攻では、6月から果物の収穫・販売がスタートし、ウメ、アンズ、モモ、ブルーベリーのほか、7月からはブドウの販売が始まりました！ブドウは果樹専攻のメイン品目で、販売が始まると、毎週水曜日の直売では果物を買求めるお客様が長蛇の列を作り、大盛況となります。

7月下旬からはナシとイチジク、ミカンの販売が始まり、8月盆前にはシャインマスカットが収穫できるなど、これまで以上に美味しい夏が到来します。

果樹専攻の夏休みはひたすら収穫と調製で大忙しで、学生たちは暑い中一生懸命働いてくれています。学生と一緒に作った完熟で美味しい果物をぜひお買い求めください♪



搾りたての牛乳でチーズ作り体験

西尾市で酪農を営みながら、乳製品の生産販売をしている北村牧場の北村克己氏を講師に招き、2年生がチーズ作り体験を行いました。

実習当日の朝、ジャージー牛から搾った生乳を加工演習室に持ち込み実習を開始。チーズ作りのポイントは熱によって微生物が失活したり、たんぱく質が変性しないように、丁寧な温度管理をすることです。細心の注意を払いながら低温殺菌を行い、熱いお湯と凝固した生乳の成形に苦戦しながら、モッツアレラチーズとカチョカバロに加工しました。出来上がったチーズは、学生が愛情を込めて飼っているジャージーの牛乳を使ったこともあり、通常のチーズよりも濃厚で特別な味わいでした。



屋外平飼い飼育を開始しました

養鶏専攻では育雛鶏舎、開放型鶏舎、ウインドレス鶏舎で愛知県特産地鶏の名古屋コーチンを始め、ボリスブラウン（赤玉鶏）やジュリアライト（白玉鶏）、特殊鶏の烏骨鶏、アローカナ、岡崎おうはんを飼養しています。

畜産業界では近年アニマルウェルフェアに関心が高まっている中、当校でも学生の卒業プロジェクトとして、通常のケージ飼育と平飼いの比較を試験的に実施することとなりました。1・2年生が暑い中、知恵を絞って、協力しながらパイプ、ベニヤ板等により作成した手作り感いっぱいの施設で名古屋コーチンの屋外平飼い試験を開始しました。



トピックス

令和7年度外部評価委員会を開催

6月30日(月)に、本校の令和6年度
の取組実績及び令和7年度の取組計画につ
いて外部の有識者等に評価していただく
「外部評価委員会」を開催しました。

本校の中長期計画である「教育研修基本
計画2025」のめざす姿である愛知の農業を
支える意欲ある多様な人材の確保・育成を
進めるため、各委員からいただいた御意見
や御助言を運営に反映し、教育や研修の向
上に努めてまいります。

外部評価委員メンバー

- ・龍谷大学農学部教授 淡路和則氏
- ・本校同窓会長 野田留美氏
- ・安城農林高等学校長 竹内匡介氏
- ・農業生産法人(株)中甲社長 杉浦俊雄氏
- ・中日新聞事業局事業統括部次長 池口真美氏

外部評価委員からの主な意見とそれに対する回答

Q 定員割れが続いていることについてどう考えているか。

A この農大も同じ課題を抱えているので農林水産省に相談をかけている。全国の農大の中で選択と集中
を行い、各農大の特徴を活かした学校づくりも一つの方法と考えている。

Q 学生にはどのような資格・免許が人気か。

A 大型特殊免許(農耕車限定)や家畜人工受精師などが人気である。

Q 就農希望者を就農説明会に呼び込む方法を何か考えているか。

A 今年度中に就農支援専門オンラインプラットフォームを構築する予定であり、就農希望者が愛知県で就
農できるよう呼び込みを強化する。

Q 全寮制の特徴を活かし、人間力が強化されるような取組はないか。

A 学生と指導教員とのランチ会を検討していきたい。

※ 評価結果については、本校ウェブページ
に掲載する予定です。



AGTS 農業展にブースを出展

7月9日から3日間、Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）において、中部地区で初めて開催された AGTS 農業展のアカデミックエリアに農業大学校が出展しました。

学校紹介や昨年度のプロジェクト学習内容のパネルを展示したところ、学生の保護者等に見てもらったり、学校案内やオープンキャンパスのちらし、就農相談案内等を多くの人に手に取ってもらったりしました。

オリジナルラベルの米や観葉植物の寄せ植え、名古屋コーチンなどの4種の卵は来場者の目を引き、農業大学校のPRにつながりました。



AGTS 農業展での校外学習

7月10日（木）、AGTS 農業展に全校学生（参加者 165 名、3 名欠席）で校外学習に出かけました。この農業展が本県で開催されるのは初めてで、今回、学生は幸運にも先進的な農業技術を学ぶ機会を得ることができました。

会場では、農業用ドローンやセンシングシステムといった最新のスマート技術だけでなく、本校や農林高校の紹介ブース等、幅広い分野の展示があり、学生は熱心に話を聞いたり質問したりしていました。中には自動運転トラクターに試乗した学生もあり、「農大にもこんな便利なものがあると良いな」など、刺激を受けたようです。

農大では、今後も学生が最新の農業技術を学べる機会をつくっていきけるよう、取り組んでいきます。



第1回進路セミナー、エントリーシート作成セミナーを開催

6月27日（金）、1年生全員を対象に第1回進路セミナーを開催しました。

今回は、就職活動の心構え、職業選択のための準備、就職活動の流れなどについての講義をしました。講義後には「思っていたより早く就職活動をしなさいといけない」「就職か就農しかないと思っていたが意外といろいろある」といった声が聞かれました。進路セミナーは、1年生を対象に来年2月までに計5回開催する予定です。

また、7月11日（金）及び15日（火）に、就活中の2年生を対象にエントリーシート作成セミナーを開催しました。

自己PRやガクチカ（学生時代に力を入れたこと）の内容をブラッシュアップし、採用担当者の目に留まるエントリーシート作りをしました。ブラッシュアップしたエントリーシートとともに夏休み中も内定獲得に向けて就活します。



農学科後援会専攻見学・懇話会を開講

7月16日（水）に後援会主催で専攻見学及び懇話会が開催されました。

当日は、学校からの近況報告や、普段、見ることができない校内での学生の様子を見学し、懇話会では教職員も含め後援会会員同士の親睦を深めました。



終業式を開催

7月18日（金）、4月から3か月間が経過し、夏休み期間に入る前に終業式を実施しました。

島岡校長からは、社会人として必要なルールを守ることについての再確認の話がありました。また、学生たちの頑張りの話や、努力、成果について感謝を伝えられました。その後、各担当の先生から学習の様子、生活における注意、進路に向けた取組の話がありました。教育部長からは安心・安全な実習を目指すための注意喚起があり、一学期を振り返り、次の農大生活に向けた終業式となりました。

これからいよいよ夏季休業が始まります。農家派遣実習を先行して行う学生も、当番実習を行う学生も、将来の目標に向けて充実した期間になるよう期待しています。



お知らせ

Open Campus 2025

8/26 火

(今年度最後の開催です)

日 程

- 9:20～ 受付開始
- 9:40～ オリエンテーション、農業大学校の概要説明
- 10:20～ キャンパスツアー（各専攻施設等の見学）
- 11:20～ 在校生との交流
- 11:50～ 学生寮の食事体験（希望者のみ：有料）
- 11:50～ 受験相談等（希望者のみ）

- 事前に参加申し込みが必要です。
- ※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください。

参加申込みは
HPから

愛知農大



お知らせ

令和8年度入学者選抜試験

● 一般推薦入学試験

- 出願期間 9月30日(火)～10月15日(水)
- 試験日 10月31日(金)
- 合格発表 11月12日(水)
- 試験科目 小論文(800字以内) 面接試験
- 募集人員：定員100名のうち2/3程度

● 一般入学一次試験

- 出願期間 11月11日(火)～11月26日(水)
- 試験日 12月9日(火)
- 合格発表 12月18日(木)
- 試験科目 数学Ⅰ、小論文(800字以内)、面接試験
- 募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

- ※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください。

願書 受付中!

クラブ活動紹介

農大では、授業後の余暇時間を活用して、学生主体でクラブ活動が行われています。クラブは、全部で12クラブ。今月は「フットサル部」と「茶道部」を紹介します。

フットサル部

部員数 20名
(男子20名、女子0名)
活動日時 水曜日 18:30~
活動場所 体育館

こんにちはフットサル部です。私たちは1年生と2年生の仲が良く、楽しい雰囲気です。練習やミニゲームを中心に、楽しみながらがモットーです。残念ながら東海近畿スポーツ大会ではフットサルの競技はありません。初心者の方でも気軽に参加できるので、是非私たちと良い汗を流しましょう。



茶道部

部員数 16名
(男子7名、女子9名)
活動日時 水曜日 18:00~
活動場所 旧本館1階和室

こんにちは茶道部です！私たちは週に1回、外部講師の安藤宗艶先生をお呼びして稽古をしています。初心者ばかりなので、みんなで仲良く教えあっています。また、季節によって和菓子や花の種類が変わるので名前を覚えられるなど勉強になります。男女問わず、誰でも大歓迎です！



SNS 投稿 dailly

農大公式アカウント: Instagram・X(Twitter)
アカウント名 「aichinoudai」

通番 (投稿日) 内 容

30 (6月 24 日) 自家製なすのおやき

31 (6月 24 日) 第2回オープンキャンパス

32 (6月 24 日) トラクターにロータリーを装着

33 (7月 2 日) 草払機の実習

34 (7月 3 日) 子豚に癒やされています

35 (7月 4 日) アシストスーツ使用体験

36 (7月 9 日) モッツアレラチーズ作りに挑戦

37 (7月 15 日) AGTS 農業展に行ってきました

38 (7月 15 日) ハイドロカルチャー作品作り

39 (7月 16 日) 農大祭 2025 キックオフ

40 (7月 17 日) 酪農専攻をムービー紹介します

41 (7月 18 日) 大型特殊免許研修

42 (7月 18 日) 農大後援会の専攻見学・懇話会

43 (7月 18 日) 千葉農大に行ってきました

44 (7月 22 日) 7/18 終業式



Follow Me !!

